



ポジティブ・アクションシンボルマーク「きらら」

ポジティブ・アクションを推進するための業種別「見える化」支援ツール活用マニュアルの概要

○業種別「見える化」支援ツール活用マニュアルの概要

本マニュアルは、職場における男女労働者間の職域、役職などに関し事実上生じている格差の実態把握・気づきを得ることを目的とした『業種別「見える化」支援ツール』の活用方法を紹介しています。

また、『業種別「見える化」支援ツール』で把握された実態を踏まえ、格差解消に向けたポジティブ・アクションの取組方法について、企業事例を交えて説明を行っています。

ポジティブ・アクションに取り組むきっかけとして、是非本マニュアルをご活用ください。

○業種別「見える化」支援ツール活用マニュアルの構成

本マニュアルでは、『業種別「見える化」支援ツール』、各指標の業界平均値を掲載するとともに、各業界（百貨店業、スーパーマーケット業、情報サービス業）におけるポジティブ・アクションの意義、業種別「見える化」支援ツールの活用方法、ポジティブ・アクションの取組手順等を掲載しています。

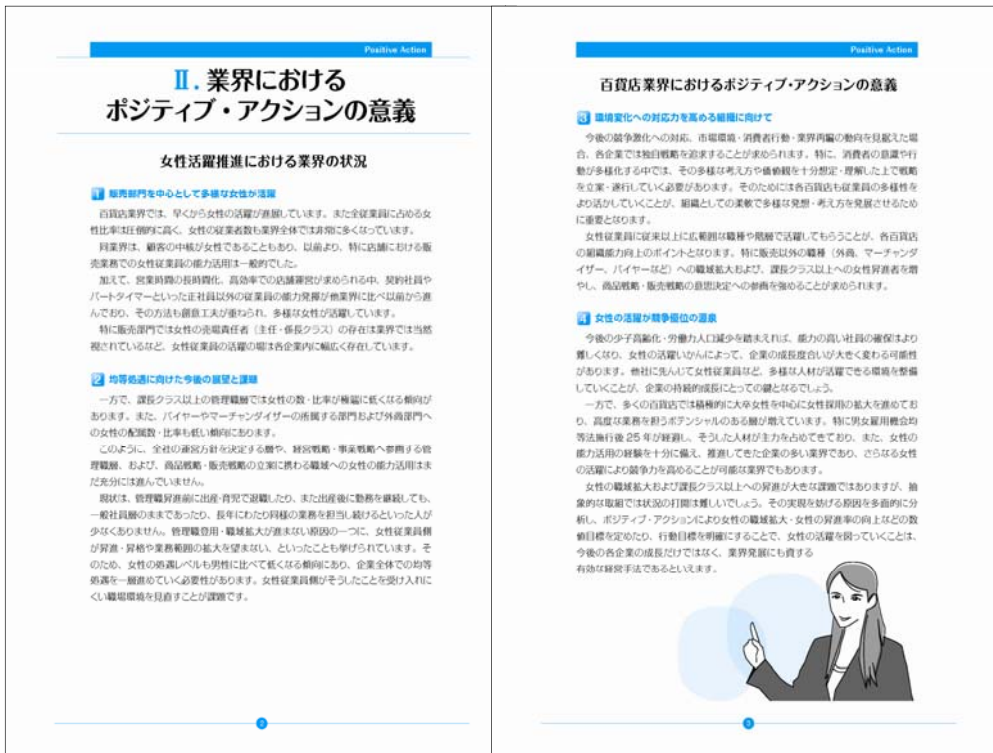
目次

- 1 本マニュアルの目的
- 2 業界におけるポジティブ・アクションの意義
- 3 「見える化」の重要性とツール活用のメリット
- 4 推進体制とツール活用の取組手順
- 5 ツールによる現状把握と課題分析
- 6 目標設定・施策立案と施策の実施
- 7 ポジティブ・アクションの取組事例

参考

- 1 業種別「見える化」支援ツール
- 2 業界平均値

【参考】掲載イメージ（百貨店業編の例）

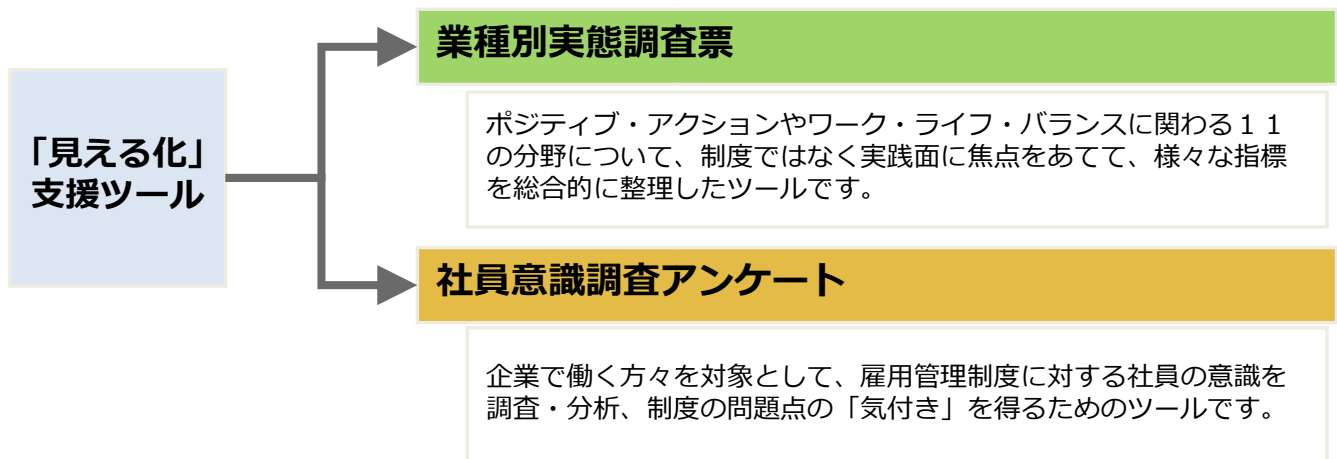


○業種別「見える化」支援ツールの概要

職場における男女労働者間の職域、役職などに関し事実上生じている格差の実態把握・気づきを得ることを目的とし、百貨店業、スーパーマーケット業、情報サービス業の3業種について作成しています。自社における課題を多角的な要素で分析できたり、業界の特徴をふまえた自社の状況を把握することができます。

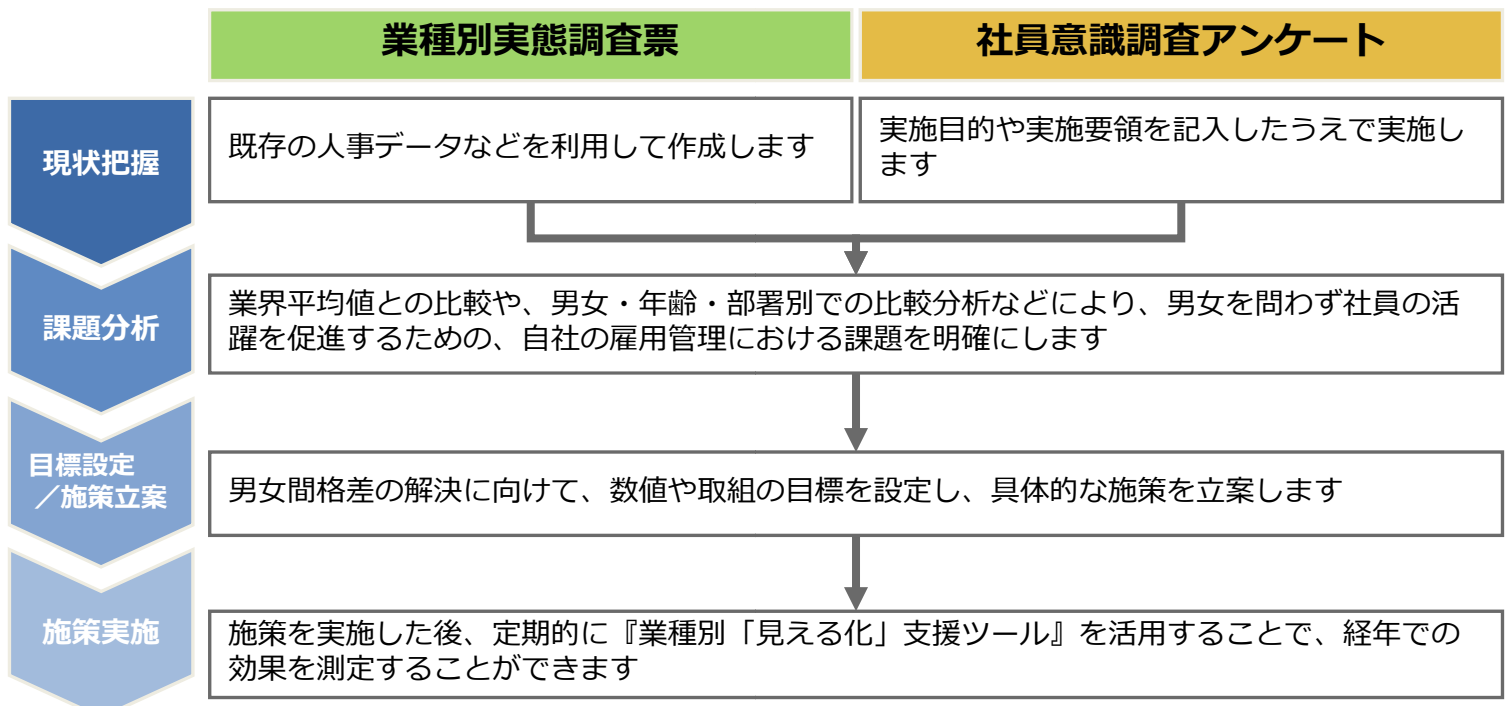
○業種別「見える化」支援ツールの構成

業種別「見える化」支援ツールは、「業種別実態調査票」と「社員意識調査アンケート」からなります。



○業種別「見える化」支援ツールの取組手順

ツール活用の取組手順は次のとおりです。各ステップの詳細の取組については、『業種別「見える化」支援ツール活用マニュアル』で詳しく解説しています。



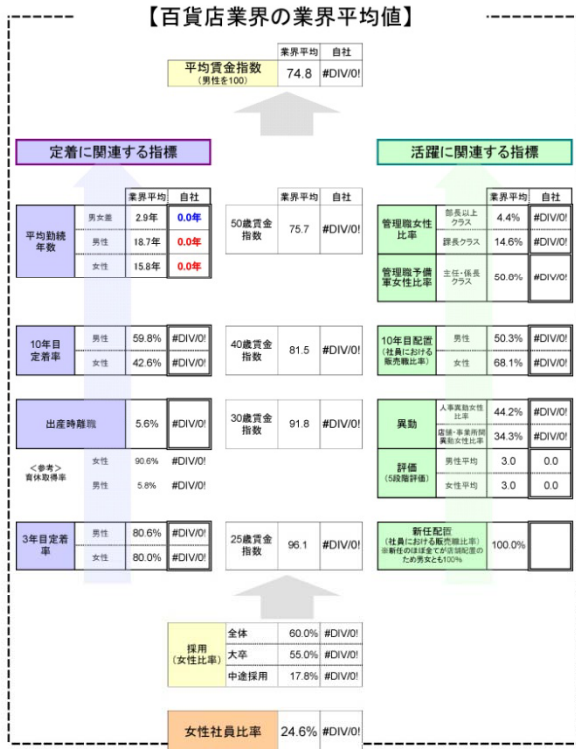
○業種別「見える化」支援ツールを活用した結果イメージ

「業種別実態調査票」の入力により、「表1」「表2」の結果が得られます。

「表1」は各指標に対し「業界平均値」が入力されています。自社のデータは「業界平均値」と比較して表示されます。

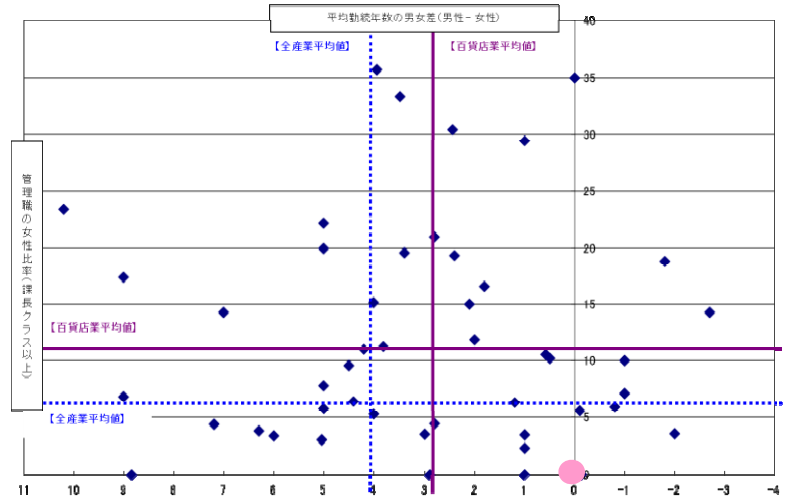
「表2」にも、業界内の調査協力企業各社のデータが表示されており、自社のデータはピンクの●で表示され、業界内でのポジションが一目で分かるようになっています。

表1. 業界の主要指標（百貨店業の例）



※注1:「女性比率」とあるものは、「男女計に占める女性の割合」
 ※注2:「業界平均値」は2011年9月末時点のもの

表2. 「定着」と「活躍」の関係（百貨店業の例）



「表3」は社員アンケートの結果です。社員アンケートの回答状況と、表1の実態調査結果と突き合わせて分析することで、取組が社員にどの程度浸透しているのか見てとれます。

表3. 社員アンケートの結果（サンプル）

